

2024年(令和6年)
9月号(第40号)
発行：東志賀学区
連絡協議会



夏の思い出 学区盆踊り

一丸！ふれあいの祭典

東志賀学区ふれあい盆踊り大会(8月3日)が今夏も盛大に開催されました。和太鼓のリズムに合わせて楽しみに踊る住民の輪。文字通り学区で暮らす人たちが、ふれあい、絆を深め合うイベントになりました。子どもたちにとってもステキな夏休みの思い出になったはずですが、恒例の盆踊りは、日ごろ、地域で活躍してくれている学区の各種団体や各町内会の役員らが手弁当で企画、運営をしています。学童保育所や子ども会、ジュニアクラブ、子ども食堂も屋台や縁日の運営に協力。当日のやぐらの設営から翌朝の掃除まで、裏方さんたちが「総力戦」で、一大行事をつくり上げました。



笑顔咲く 多世代踊りの輪



汗

やぐら準備



屋台&縁日

熱い思い

「地元の大事なイベントだから」。熱い思いを持つ住民が集まり、やぐらを組み上げます。縁日や屋台の買い出しと搬入。熱帯夜となった当日、高温の鉄板と格闘しながら、行列をつくる住民のために、焼きそばやフランクフルトを調理するヒーローの姿もありました。笑顔で踊る住民の姿や、縁日を楽しむ子どもたちの歓声が清涼剤となりました。有志のメンバーは翌日、校庭の清掃してくれました。住民の心意気で成り立つ盆踊り。学区や町内会は役員の高齢化も進み、若い世代の住民とさらに連携を深める仕組みを模索中です。



翌日 後片付け



学区長の山崎悦男さんは「経験のある役員さんと若い世代の人が力を合わせ、とても良いイベントになりました。特に今年は若い人と子どもたちがたくさん会場に来てくれて、すごく盛り上がりました」と振り返りました。

今月の題字 節目の40号となる9月号の題字は、東志賀小1年の酒井晴喜君が、イラストを届けてくれました。カッコいいトラやライオン。楽しみながら描く酒井君の様子が伝わってくる作品ですね。手描きの題字は世代を問わずに募集しています。応募は編集部(連絡先は裏面)まで。

MOYAIICO 講演&見学会

十月十六日

北区を拠点に障がいのある人たちの暮らしを支援している認定NPO法人「ポパイ」の活動を知り、連携を考へる行事が十月十六日(水)午前中に開かれます。法人は「分けっこ」を意味する名古屋弁の「MOYAIICO(もーやいこ)」をテーマに、人や地域とつながり、役割を得て豊かに暮らすことを目指して活動。当日は十時から北区生涯学習センター第二集会所でポパイ理事長の山口未樹さんが講演し、十一時半まで法人の施設を見学します。参加無料。申し込み不要。問い合わせは水曜と金曜の午前中に学区支援あい事業の相談窓口(☎080-743511)へ。

僕も、私もお祭りの主役！ 7月末に開かれたアーバン夏祭りでは、かわいいキッズがダンスと火踊りを披露。そして司会進行でもマイクを握り、大成功の夏祭りの立役者になりました。



アーバン夏祭り☆キッズが主役☆

イベントは毎年、団地の5町内会が企画しています。お祭りは子どもたちの開会宣言でスタート。「きらり☆キッズ」の元気いっぱいダンス、学童保育所の児童の火踊りが会場を盛り上げ、保護者の方からは「ステキな思い出になりました」と感謝の言葉が。準備をしてくれた町内会、各種団体の皆さん、暑い中、ありがとうございました。



社会を明るくする運動

作文・宇野さん表彰

第74回「社会を明るくする運動」北区大会が7月、北文化小劇場で開催され、犯罪と非行のない明るい社会を築こうと呼びかけました。北陵中学校と東志賀小学校などには横断幕やのぼり旗が掲げられ、保護司らが啓発活動を行いました。



大会に伴い、児童生徒の作文コンクールがあり、東志賀小6年の宇野由依菜さんが表彰を受けました。(文章は学区保護司会会長岡田常晴さん) ◇学区では青少年を含めた人の立ち直り、社会復帰支援のために保護司さんが活躍してくれています。

わくぐり神事 猛暑乗り切って 氏子総代が茅の輪手作り



無病息災を祈願する「わくぐりまつり 茅輪神事」が7月、学区の住民が管理する兒子八幡社で開かれました。日ごろ、神社の世話をしている氏子総代会の役員さんたちは今夏も茅を刈りに出かけ、立派な輪を手作りしてくれました。神事は健康を願うた

めのもの。「猛暑を元気に乗り切ってほしい」という役員の方々の熱意に感謝しながら、大勢の住民が輪をくぐ

りました。兒子八幡社はマルシェ「ちごいち」が開催されるなど、住民の交流の場になっています。氏子総代会は神社の管理を手伝ってくれた住民を募集中です。問い合わせは氏子総代会長の佐々木征一郎さん(☎080-5135)9634へ。

アメリカ力編集室便り



79年前の夏、広島と長崎に原子爆弾が落とされ、多くの人が亡くなり、つらい思いをしました。ワシントン近郊の博物館には原爆を投下した米軍機「エノラ・ゲイ」が展示されています。夏休みとあわせて、博物館には親子の姿が目立ちました。戦争の恐ろしさと悲しさ、むなしさ。巨大な機体を見て、私も強く実感しました。どの時代も平和が一番ですね。(鈴木龍司)

街のニュース&題字募集中です!

■電話=学区長の山崎悦男さん 090(1277)3131
■メール=天野さん、神藤さん heroeshensyuubu@gmail.com